

- 問1 北陸新幹線の開業前後における石川県の観光動向をまとめた資料では、新幹線の開業を境に観光客総数が右肩上がりに増加していることが示されています。この変化の要因について、地理的な視点から述べた説明として最も適切なものを選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）
1. 高速交通網の整備により、滞在型観光だけでなく日帰り圏内としての魅力も高まったため
 2. 並行在来線が切り離されたことで、各駅停車の利便性が高まり近隣住民の利用が増えたため
 3. 新幹線によって日本海側の各都市が結ばれ、東北地方からの観光客が中心となったため
 4. 新幹線の開業に合わせて、北陸地方全域の鉄道運賃が他地方より安く設定されたため
- 問2 富山ライトレールの導入後、統計上では60代や70代の利用者がJR時代と比較して3倍以上に急増するという結果が得られました。このような高齢者の利用者層が大幅に増加した背景にある、交通環境の整備に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）
1. 車両の床面をホームの高さに合わせた「超低床車両」を導入し、乗り降りの段差をなくした。
 2. 全ての利用者の運賃を完全に無料化することで、高齢者が毎日利用しやすくなった。
 3. 運行速度を従来の列車の2倍以上に高め、主要駅間の移動時間を大幅に短縮した。
 4. 全ての車両を3階建て構造にすることで座席数を増やし、混雑緩和を優先した。
- 問3 人口約119万人の県庁所在地を持つこの都道府県の都市交通について、1994年以降の動向や公共交通機関の特徴を説明した文として、正しいものはどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）
1. 1994年以降、東海道新幹線のすべての駅と県庁所在地を結びリニアモーターカーが丘陵地を貫いて運行されている。
 2. 県庁所在地では路面電車で代わる移動手段として、山間部から都心へ木材を運搬するための貨物専用鉄道が1994年に開通した。
 3. 都心部の交通渋滞を解消するためにすべての路面電車が廃止され、1994年には地下鉄網の整備に一本化された。
 4. 県庁所在地では路面電車が運行されており、1994年以降は丘陵地の住宅地と都心を結ぶ新たな鉄道も導入されている。
- 問4 日本の中央部に位置する中部地方には、標高3,000メートル級の山々が連なる3つの山脈があり、これらは総称して「日本アルプス」と呼ばれます。このうち、最も南側に位置し、険しい地形と多い降水量を活かして古くから林業が盛んに行われてきた山脈の名称として正しいものを選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 奥羽山脈
 2. 飛騨山脈
 3. 木曽山脈
 4. 赤石山脈
- 問5 日本の気候区分において、日本海側の地域に位置する新潟市などは、一月や十二月といった冬季の月降水量が二百ミリメートルを超えることがあり、太平洋側の都市と比較して非常に多いという特色があります。このような気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）
1. 冬に北西から吹く湿った季節風が、日本の中心部にある山脈にぶつかって上昇するため
 2. 一年を通じて暖流の影響を強く受け、冬でも日本海上で低気圧が発達しやすいため
 3. 冬に太平洋側から吹く乾燥した季節風が、日本海を渡る際に上昇気流を発生させるため
 4. 夏に南東から吹く湿った季節風が、高い山々を越えて日本海側に吹き降りるため
- 問6 中部地方の日本海側に位置し、能登半島を擁する石川県では、冬の積雪期間が長いといった気候条件もあり、古くから農家の副業として様々な手工業が発達しました。この地域で生産される、落ち着いた色使いや写実的な草花模様を特徴とする伝統的な染物の名称として適切なものを選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）
1. 江戸小紋
 2. 博多織
 3. 加賀友禅
 4. 西陣織
- 問7 地形図から特定の場所の景観を推測する際、観察地点から特定の構造物が見えると判断できる理由として、上野原市の桂川周辺の事例に基づいた説明として正しいものはどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）
1. 観察地点が市街地の中心部にあり、高い建物が一切存在しないことが地図上の記号から読み取れるため
 2. 観察地点の標高が周囲より高く、南側の川沿いにかけて標高が下がっており、視界を遮る遮蔽物がないため
 3. 観察地点が深い谷の底に位置しており、周囲の崖が防音壁の役割を果たして鉄道の線路が確認しやすいため
 4. 国道20号などの主要道路が観察地点よりも高い場所を通っており、そこから見下ろす形になるため
- 問8 長野県において、農業産出額に占める野菜や果実の割合が、米などの他の品目と比較して高くなっている理由として、地理的な背景を説明したものを選びなさい。（2019年 大分県公立入試 類似）
1. 広大な平野部で大型機械を導入した米の単作が効率的に行われているため。
 2. 大都市に隣接しているため、土地を高度に利用したビニールハウスによる施設園芸が主流だから。
 3. 標高が高い地域の涼やかな気候や、扇状地などの水はけの良い傾斜地を活かしているため。
 4. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を利用して、冬でも野菜を栽培する促成栽培が盛んなため。
- 問9 富山市では、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを進めるために「富山ライトレール」が導入されました。この路線の利用者について、以前の移動手段を調査した統計では、かつてのJR富山港線を利用していた層は約46.8%に留まっています。この統計から読み取れる利用者の傾向として、適切な説明はどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）
1. かつてのJR富山港線を利用していなかった人が、自家用車からの乗り換えや新規の移動手段として、全体の3割以上も利用するようになった。
 2. 以前からJR富山港線を利用していた層が利用者の大半を占めており、自家用車から鉄道への乗り換えはほとんど見られない。
 3. JR富山港線の廃止に伴い以前の利用者がいなくなったため、現在は主に自転車や徒歩で移動していた層が中心となって利用している。
 4. 新規の利用者は存在せず、以前からバスを利用していた層がすべて鉄道利用に切り替わったことで利用者が維持されている。
- 問10 富山ライトレール（LRT）の導入において、高齢者や子供を含む幅広い世代が利用しやすくなるよう、運行サービスの向上とともに進められた物理的な工夫として正しいものを次の中から選びなさい。（2016年 長野県公立入試 類似）
1. 乗降時の負担を減らすため、ホームとの段差をなくした低床車両を導入した。
 2. 郊外からのアクセスを優先するため、市街地の駅を廃止して停車駅を絞り込んだ。
 3. 駅の滞在時間を短縮するため、全ての駅に階段とエスカレーターを設置した。
 4. 一度に多くの乗客を運ぶため、車両の連結数を増やして大型化した。
- 問11 日本全国において中部地方に位置し、鉄道の営業距離が約710kmに及ぶこの都道府県の産業と交通の特色について述べた文として、適切なものはどれですか。この県では、内陸の山地は南北方向に、沿岸部では東西方向に鉄道が走っています。（2020年 東京都公立入試 類似）
1. 沿岸部には造船業や鉄鋼業が立地しており、東海道新幹線の駅が県内に5つ設置されている。
 2. 沿岸部では繊維工業や陶磁器工業が盛んであり、東海道新幹線の路線は内陸の山地を南北に縦断している。
 3. 内陸の山地では輸出向けの自動車産業が発達しており、すべての鉄道網が山地を東西に横断するように敷設されている。
 4. 沿岸部には大規模な石油コンビナートが集中しており、東海道新幹線の駅は県庁所在地のみに設置されている。